

令和6年度 土木部組織目標

組織名	土木部	部長	丸山 信文
組織の目的・方向性	<p>能登半島地震により被災した、道路及び公園の迅速な復旧により市民の日常生活の早期回復を図ります。</p> <p>物流や移動など社会経済活動を支える道路ネットワークの強化とあわせて、効率的かつ効果的な維持保全に国や県と連携し取り組みます。</p> <p>また、都心エリアでの緑化を図るとともに、自転車利用環境の向上や、ユニバーサルデザインを踏まえた駅へのエレベータ設置など、快適性・安全性の向上とあわせて、ライフスタイルの多様化にも対応した整備を推進します。</p>		
(参考) 関連する総合計画における政策指標*	<ul style="list-style-type: none"> ○道路（橋を含む）が適切に整備・管理されていると思う市民の割合 ○都心部で以前と比べ緑が増えたと思う市民の割合 ○身近な公園について、安心・安全で快適に利用できると思う市民の割合 		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

土木部組織目標

<p>土木部では、地震により被災した道路・公園の復旧を最優先に、日常の生活を取り戻し、市民が安心して暮らしていただけるよう、関係団体や行政機関及び関係各部と連携しながら取り組みます。</p> <p>一方、拠点都市として基盤となる道路ネットワークの形成とともに、災害に強いまちづくりや、都心エリアの緑化をはじめとする都市機能の強化並びに魅力の向上を図ります。</p> <p>この方針のもと、今年度は、次の3つの目標に重点的に取り組みます。</p> <p>重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 被災した道路（市道、私道）及び公園の復旧による日常生活の回復 2 道路ネットワークの強化と公共インフラの長寿命化の推進 3 公民連携による緑化の推進 4 多様化する行政課題を捉え実践できる職員の育成

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

取組結果	重点目標の達成状況	目標数		達成数	
今後の方向性					